

# 2019年3月期 第3四半期決算補足資料

2019年2月14日(木)

株式会社HAPiNS

代表取締役社長 柘植 圭介

(東京証券取引所JASDAQ 証券コード7577)

## 1. 第3四半期累計期間 決算概要

- ◆ 売上高：前年比 107.5%
- ◆ 営業利益：前年比 107.0%

積極的な出店が奏功し、増収増益を達成。

既存店売上は対前年で低調推移。暖冬の影響により冬の戦略商品の出足が鈍るも、12月後半に巻き返し。

## 2. 今後の重点施策

- ◆ 既存店舗の収益性向上

店舗コンセプトを明確に打ち出し、今までの取扱い商品のカテゴリーやSKUを絞り込むことによって、お客様ニーズに寄り添った提案ができるよう売り場を構築する。

# 1. 決算概要

## 売上高増収、営業利益増益を達成

(百万円)

	2018年3月期 第3Q累計実績	2019年3月期 第3Q累計実績	前年増減差	前年同期比
売上高	6,766	<b>7,275</b>	+509	107.5%
販管費	3,471	<b>3,783</b>	+311	109.0%
営業利益	243	<b>260</b>	+17	107.0%
経常利益	222	<b>202</b>	▲20	91.0%
当期純利益	157	<b>110</b>	▲47	70.0%

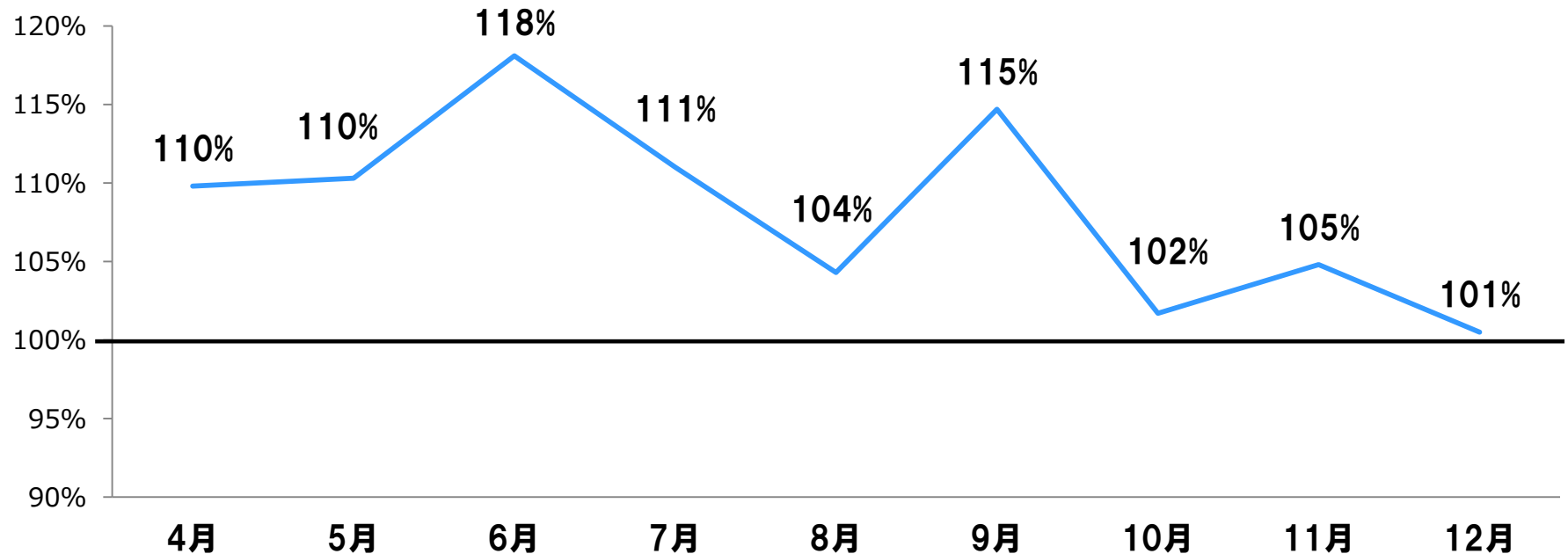
## 新規出店により有形固定資産が増加

資産の部 (単位：百万円)	前事業年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成30年12月31日)
流動資産	2,948	3,615
（うち、現金及び預金）	773	422
（うち、商品）	1,463	1,998
固定資産	2,434	2,845
有形固定資産	1,031	1,421
無形固定資産	97	79
投資その他の資産	1,304	1,344
資産合計	5,382	6,461

負債・純資産の部 (単位：百万円)	前事業年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成30年12月31日)
流動負債	3,050	3,627
固定負債	1,546	1,937
負債合計	4,596	5,564
株主資本	785	895
資本金	100	100
資本剰余金	716	716
利益剰余金	29	140
自己株式	△60	△60
評価・換算差額等	0	0
純資産合計	785	896
負債純資産合計	5,382	6,461

売上高は対前年+509百万円、107.5%で着地

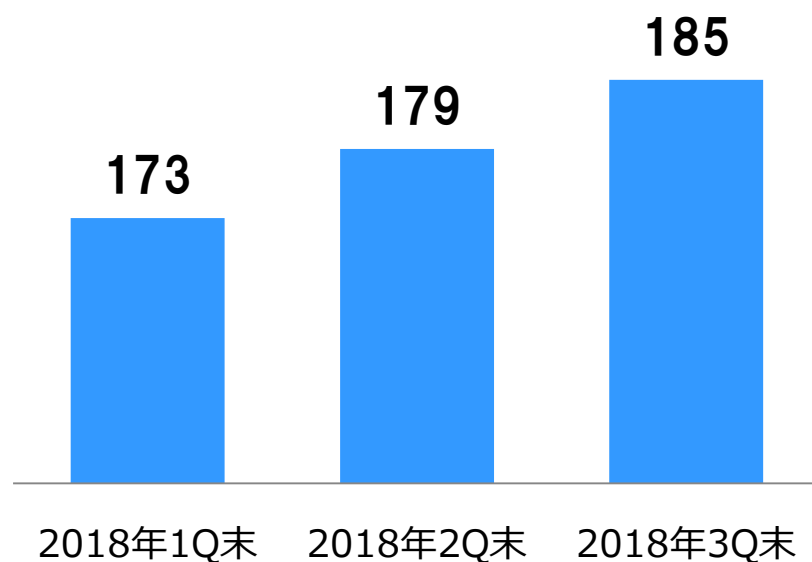
【月次売上高推移（前年比）】



毎月、前年実績を上回り推移。暖冬の影響により、メイン商材の冬物の出足が鈍り、売上計画に対し苦戦するも年末セールが奏功。新規店が堅調推移する一方、既存店は低調推移。

## 収益性向上を目指しスクラップ&ビルドを推進

### 【店舗数推移】



### 3Q累計期間出店状況

- 新規出店36店舗
- 退店10店舗

※短期契約含む

※直営店、F C合算値



## 2. 今後の重点施策

## 既存店舗のテコ入れによる収益性向上を目指す

- ▶ お客様の使用シーンを想定し、打ち出す商品の価値を明確にすべく、カテゴリとSKUを絞り込む。
- ▶ シーンイメージを追求し、お客様に提案。
  - ・キャラクターに囲まれた癒しのリビング
  - ・家族で快適なお風呂 等



▶ お客様にわかりやすく店舗想起を促す。

# 対前年で売上高・営業利益・経常利益で 増収増益を確保する見通し

※2018年11月13日開示

(単位：百万円)

	2018年 3月期実績	2019年 3月期計画	対前年 増減額
売上高	8,778	9,800	+1,022
営業利益	151	210	+58
経常利益	127	140	+12
当期純利益	29	4	-25

# 免責事項

**本資料は、当社の企業説明に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。**

**本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性・完全性を保証または約束するものではなく、今後、予告なしに変更されることがありますので予めご了承ください。**